



なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 18

平成 25 年 1 月 11 日

「感謝の心をもち、自分をみがく」 始業式の校長式辞 (一月七日)

二〇二三年癸(ミズノト)巳(み・へび)年

新年明けましておめでとございます。みんなの引き締まった顔がとても素敵です。今年一年の自分の目標をもちましょう。今日から、三学期がスタートします。そこで、校長先生の好きなオアシス言葉のことを話します。

オアシスは、砂漠やステップという乾燥地域の中にある、人や生き物が生きていくためになくてはならない真水がある場所のことを言います。オアシス言葉もとても大切な言葉です。

一つ目のオは「おはようございます」。二つ目はア「ありがとうございます」。三つ目はシ「失礼しました」。四つ目はス「すみません」という言葉です。私は、この言葉は感謝の心から生まれたのではないかと思っています。

みなさんは次のことを考えたことがありますか。朝、さわやかに目が覚め、おいしくご飯を食べ、元気に学校に行けることがどんなにありがたいことか。いったい誰のおかげでしょうか。親に感謝し、友だちに感謝し、先生に感謝したことがありますか。おそらくみなさんは当たり前なことだと思っているのではないのでしょうか。でも、本当に当たり前のことでしょうか。

世界に目を向けてみると、みなさんと同じ年ごろの子でも、まだ自分から起きて自分の足で一度も歩いたことのない子もいます。食べるものがなく死んでしまう子も大勢います。体が弱く、学校に行きたくても行けない子もいます。健康で学校に来られることがどんなにありがたいことかをよく考えてほしいと思います。

人間はたった一人で生きていくことはできません。みなさんが気付かない多くの人たちに支えられて生きているのです。人ばかりではありません。私たちの周りには自然の恵みにもお世話になっています。

例えば、今まで空気や水に感謝したことはなかったと思います。でも、考えてください。もし空気がなくなったら、水槽の魚も口をパクパクさせながら死んでしまいます。世界の中には、汚れた水を飲まなくてはならないところもあります。

私たちが生きていくということは、大自然の恵み、さまざまな人々の力があるからです。自然に感謝し、他人に感謝する心を失ったら、人間として失格だと思っています。

みんな元気に学校に来られました。誰のおかげでしょうか。学校に来ると友だちや先生と仲良く勉強したり、遊んだりすることが出来ます。自然に感謝し、家族のみんなや友達に素直に感謝できる人になってください。

それには、最初に言った『オアシス』をいつでも言えるようになってほしいと思います。三学期の目標は、オアシスを言えるように、「自分の力を磨く」＝「自分力」を高めることです。家づくりでいえば、仕上げです。それぞれの学年に進級したり卒業したりすることができるように一生懸命に仕上げとしての学期を過ごしましょう。

第四一回 新春竹馬大会



《本の紹介》

おかえりなさい
はやぶさ
2592 日の宇宙航海記
講談社 1500 円